



平成 28 年 12 月 26 日

各 位

会 社 名 株式会社サーラコーポレーション
代 表 者 名 取締役社長 神野 吾郎
(コード番号 2734 東証・名証第一部)
問 合 せ 先 総務部総務グループ
マネージャー 武川 裕樹
(TEL. 0532-51-1182)

通期連結業績予想の修正及び特別損失(減損損失)の計上に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向等を踏まえ、平成 28 年 7 月 6 日に公表した通期連結業績予想を下記のとおり修正しました。また、特別損失(減損損失)を計上しますので、お知らせいたします。

記

1. 平成 28 年 11 月期通期連結業績予想の修正 (平成 27 年 12 月 1 日～平成 28 年 11 月 30 日)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に 帰属する 当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円)
前回発表予想 (A)	148,000	1,800	2,100	9,020	202.29
今回修正予想 (B)	148,950	2,590	3,050	7,920	177.48
増減額 (B-A)	950	790	950	△1,100	—
増減率 (%)	0.6	43.9	45.2	△12.2	—
(ご参考) 前期実績 (平成 27 年 11 月期)	130,201	3,647	3,937	1,928	50.16

(修正の理由)

売上高は、前回予想から大きな変更はない見込みです。利益面は、エンジニアリング&メンテナンス事業において利益率の改善に取り組んだことや、ハウジング、アニマルヘルスケアの各事業が好調に推移したことなどにより、営業利益、経常利益は前回予想を上回る見込みです。一方、親会社株主に帰属する当期純利益は、下記特別損失を計上することにより、前回予想を下回る見込みです。

2. 特別損失(減損損失)の計上について

「エネルギーサプライ&ソリューション事業」及び「ホスピタリティ事業」において減損の兆候に該当している事業用資産について、事業環境の変化等を踏まえ、投資額の回収可能性を評価した結果、回収可能価額が帳簿価額を下回ったことから、帳簿価額を当該価額まで減額し、減損損失として特別損失に 3,259 百万円を計上することにいたしました。

※上記の業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上